

学校内を居場所だらけに！

本校では、子ども一人ひとりが安心して過ごせる「居場所だらけの学校づくり」をめざしており、グランドデザインの重点取組事項にも掲げているところです。

教室だけでなく、校内のさまざまな場面で、自分らしく過ごせる空間や人との関わりを広げることは、個に寄り添った支援の具体化でもあります。子どもたちの感じ方はひとそれぞれです。その違いを尊重しながら、それぞれが「ここにいてよい」と感じられる環境を整えることが、安心・安全の確保にもつながります。

昼休みは、校内のいろいろなところが子どもたちの居場所になっています。教室はもちろんのこと、廊下等でも子どもたちが談笑している姿がよく見られます。それ以外にも多くの居場所があり、以下がその一例です。

理科室



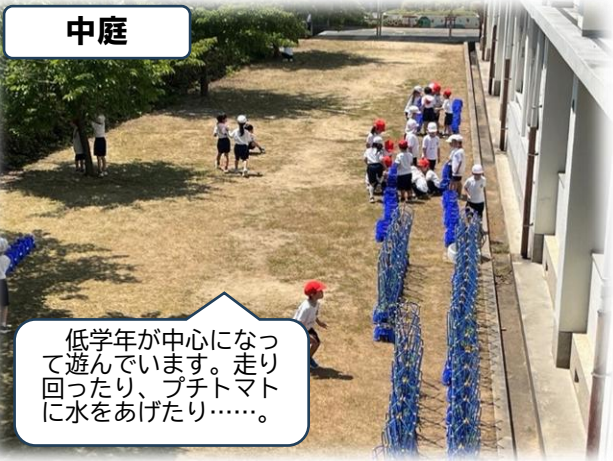
先生の実験準備のお手伝いをしながら、楽しそうに会話をしています。

音楽室



ピアノやオルガンで曲を弾いたり、リコーダーの練習をしたり、「音」を「楽」しんでいます。

中庭



低学年が中心になって遊んでいます。走り回ったり、プチトマトに水をあげたり……。

図書室



他の居場所とは一転して、静まり返った空間で、読書にいそんでいます。

子どもたちの居場所には、教職員が一緒にいるか、いなければ、いつでも声をかけられる体制を整えています。「校内が安心・安全な居場所であふれている」——そんな学校が理想です。これからも、子どもたちの声に耳を傾けながら、誰もが安心できる居場所を見つけられる学校づくりを進めていきます。